

市民が主役！躍動するまち 多治見

たじみすと

Tajimist

11

2025

No.2394

令和7年11/1 発行

広報たじみ

多治見市 LINE



特集

「子育て」全力応援

多治見市職員募集

問 人事課 ☎ 22-1394

令和8年4月1日付で採用する職員を募集します。

申込期間 11月5日(水)まで
インターネット申し込み

詳細につきましては、受験要項(ホームページ掲載)をご覧ください。



ホームページは
こちら



多治見市職員採用公式
Instagram QR コード

職 種		受験資格 (下記の要件をすべて満たすこと。)	採用予定 人員
障がい者 採用※	一般事務	・昭和60年4月2日以降に生まれた人 ・学校教育法に基づく高等学校(これと同等以上の学歴を含む)を卒業した人 ・障害者手帳などの交付を受けている人	1人 程度
経験者 採用	保育士・ 幼稚園教諭	・昭和50年4月2日以降に生まれた人 ・短期大学(これと同等以上の学歴を含む)を卒業した人 ・保育士および幼稚園教諭の両資格(免許)を取得している人または令和8年3月31日までに取得する見込みの人 ・保育士・幼稚園教諭・保育教諭として2年以上の実務経験がある人(令和8年3月31日現在)	6人 程度
	一般事務	・昭和60年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた人 ・学校教育法に基づく高等学校(これと同等以上の学歴を含む)を卒業した人 ・民間企業などにおいて職務経験が3年以上ある人(令和8年3月31日現在)	1人 程度
高卒 または 短大卒	消防	・平成7年4月2日以降に生まれた人 ・高等学校または短期大学(これと同等以上の学歴を含む)を卒業した人もしくは令和8年3月31日までに卒業する見込みの人 ・採用後多治見市に在住できる人(住所要件は、原則として在職中継続します)	1人 程度
資格職	保健師	・昭和60年4月2日以降に生まれた人 ・保健師資格を取得している人または令和8年3月31日までに取得する見込みの人	1人 程度

※1次試験は、SPI3(基礎能力検査、適性検査)のテストセンター方式です。合理的な配慮が必要な方は事前にご相談ください

2025 11 CONTENTS もくじ

- 02 - 多治見市職員募集
- 03 - 第8回フォトコンテスト
- 04 - [特集]「子育て」全力応援
- 08 - 美術・文化情報／令和6年度決算概要 など
- 12 - 生活情報／土岐川観察館／地球村／し尿処理 など
- 21 - 市長への提言／FMピピタイムテーブル など
- 26 - 多治見市の不動産を売ります
- 28 - 相談窓口／定期健診
- 30 - 健康情報／食改協おすすめレシピ／スポーツ情報
- 32 - 夜間休日当番医 など
- 34 - 青と緑の物語／子どもの権利について考えよう
- 35 - 市民病院だより／Together

- 36 - たじみ子どもの権利の日
- 38 - バロー文化ホール情報／マイタウンホットニュース
- 40 - 水道料金を改定します

今月の表紙



多治見市子育て・子育て応援大使の小野あつこさんに養正交流センターにお越しいただき、撮影をしました。撮影に協力してくれた2人のお子さんともすぐ打ち解けて、和やかな雰囲気撮影が進みました。今月の特集では、子育て・子育て応援大使、子育て応援キャプテンの取り組みを紹介しています。



多治見市公式 Instagram

第8回 フォトコンテスト

応募期間

11月1日(土) ~ 令和8年1月4日(日)

問 秘書広報課
☎22-1372

応募テーマ

多治見ごっこ

あなたが多治見で過ごす中で「多治見のここが心地いい」と感じたものを撮影して応募してください。

緑豊かなお気に入りの公園、やきものが並ぶ店の軒先、彩り豊かなタイル、多治見らしさを感じる建造物など、あなたの「多治見ごっこ」を教えてください! たくさんの応募をお待ちしています。



応募
方法

STEP1 フォロー

多治見市公式Instagramをフォロー (@tajimi_officialで検索またはQRコードから)

STEP2 撮影

あなたの思う「多治見ごっこ」を市内で撮影 (過去写真でもOK、季節は問いません)

STEP3 投稿

撮影場所と「#多治見市フォトコン2025」をつけてInstagramへ投稿

投稿された作品の中から
10点を選び、素敵な商品を
プレゼントします。
また、広報紙や市公式
SNSなどで紹介、活用させて
いただきます。

▷ 応募条件など詳しい情報は公式Instagramから

特集

「子育て」全力応援

「子育て」とは子どもが自分から成長しようとする力を自然に発揮できるよう、サポートし、成長を促す考え方です。今回の特集では、「子育て」を応援してくれる、頼もしい応援大使、応援キャプテンの取り組みを紹介します。

問 こども家庭課 23-5958 (多治見市子育て・子育て応援大使)
問 企画政策課 22-7188 (子育て応援キャプテン)



子育て・子育て応援大使就任のきっかけは「こどもフェスタ」

高木 小野さん、多治見市子育て・子育て応援大使(以下、「応援大使」)に就任いただきありがとうございます。

小野 子育て施策に力を入れている多

治見市からこのようなお仕事をいただき、とても光栄に思っています。うたのおねえさんをしていた頃から意識していたことですが、ご家族にとつてかけがえのない子育て・子育ての時期を振り返った時に「楽しかったね」と思い出していただけのような活動をしていきたいと思っています。

高木 本年1月に小野さんに応援大使に就任いただき、市民の方から「どうやってあの小野さんに応援大使になつてもらえたのか」と驚きの声をいただくこともあります。きっかけは、令和6年3月に初めて開催した「こどもフェスタ」でコンサートをしていたことだと思います。

小野 多治見市さんから熱心にお声がけいただき、このご縁に感謝しています。わたしは多治見市出身ではないですが、いろいろな交流を生むきっかけ作りをして、皆さんに「応援大使になつてもらつてよかった」と思っていた

だけるよう頑張ります。うたのおねえさんになる前は、6年間児童館でアルバイトをしていて、子育て支援教室などにも携わっていました。身近な、近所のおねえさんみたいな感覚で接してもらえればと思います。

多治見はまち全体で子どもを育てようというエネルギーを感じるまちです

高木 これまで何度もイベントなどで多治見市にお越しいただいています。が、参加してみた印象はどうでしたか。

小野 わたしが参加した「こどもフェスタ」ではたくさんの企業、団体が協賛されていて、まち全体で子どもを育てていこうというエネルギーを感じました。

高木 市内には、南坂上公園やプラティ多治見内のこどもつちパークなど、地元企業に協力いただいて整備された子どものあそび場があります。イベ

多治見市子育て・子育て応援大使

小野あつこ さん

NHK「おかあさんといっしょ」21代うたのおねえさんとして2016年から6年間番組に出演。番組卒業後は、子どもだけでなく幅広い層が楽しめるコンサートやイベントなどを行っている。



ントの開催も含めてこういった支援をいただけることは市として本当にありがたいことです。

小野 イベントには、働く車が来たり、お仕事体験ができたり、子どもたちのためのイベントだなと感じました。

高木 「ごもフェスタ」は子どもたちが自分の好きなことを見つけたり、夢を描けるようなイベントにしたいと考えたものです。そう言っていただけで嬉しいですね。

小野 「ごもフェスタ」では、わたしのコンサート以外にも、お仕事体験を親子で楽しんで参加されている様子がとても印象的でした。うたのおねえさんをやらせていただいていた頃、コロナ禍の2〜3年、子育て中に外部との交流がほとんど持てなかった人たちが多くみえました。そういう経験をしているからこそ、子どもに「実際の体験をさせたい」と思っているという親御さんが多いのではと感じています。

応援大使の活動を通じて、多治見のことを知ってもらい、さまざまな交流が生まれることを願っています

高木 小野さんが取り組んでみえるtryful(※)の活動で全国各地に

行かれていますと思いますが、大切にされていることはありますか？

小野 tryfulではその土地の産業を紹介するなど、参加した方に地域の事を知るきっかけづくりができるというなと思って活動しています。多治見市でも本年3月にtryfulを開催し、地場産業である「モザイクタイル」を使った作品を参加者の皆さんと制作しました。私の活動を通じて、地域の魅力が伝わると嬉しいです。イベントでは一人ひとりと触れ合えるように、人見知りで離れたところにいる子にも接するようにして、気持ちも伝えられたいなと思っています。

高木 今後の活動で、こんなことをやってみたいということがありますか？

小野 小さいお子さん向けのイベントが多いですが、年配の方もお子さんもみんなが交流できるような機会を作れたら嬉しいです。今、お仕事をしながら調理師学校に通って食について勉強しています。お子さんたちと一緒に地元の方に郷土料理を教えてもらってお料理教室などができたら嬉しいです。

高木 「うたのおねえさん」の小野さんを見てきた、今小学生の世代の子どもに向けて、小野さんの経験や知識を伝えていく、小野さんの影響力を生かしてそんな活動もしていただけたらな

と思います。

小野 これから、応援大使としていろいろな形で皆さんに会えることを楽しみにしています。

子育ての喜びを感じてもらえる活動を

高木 市では産後ケアの取り組みに力を入れています。幸せなはずの子育ての期間ですが、核家族化が進むなど、周りの支援をなかなか受けられず、お母さんとお子さんが孤立し、子育てを楽しめず、疲れてしまつ方もいらっしゃると思います。そんなお母さんたちを支援したいと考えています。小野さんにも子育ての喜びを伝えて、前向きな気持ちになつていただく、そんなきっかけを作るお手伝いをしていたら嬉しいです。

小野 これからいろいろな事に携わって、多治見市の子育ち・子育てを応援していきたいと思います。

※tryful(トライフル)

全国各地を巡り自分たちが食べているモノや生活の中で触れるコトを実際に体験して、子どもたちが楽しみながら学んでもらうことを目的としたイベント。小野さんが案内を務める。

対×談

多治見市長

高木 貴行

子どもも家族も、笑顔になるまちに

多治見市子育て・子育て応援大使 小野あつこさん

多治見市の子育て・子育て応援大使として、地域の皆さまと協力し、子どもたちを中心とするさまざまなイベントの企画や出演を楽しみながら積極的に行っていきたいと思います。

また、SNSなどを通して市外の方々にも多治見市のPRができればと思います。

小野 あつこ



①子育て・子育て応援大使就任のきっかけとなった、昨年3月に開催した第1回こどもフェスタの舞台に立つ小野さん。

②③今年3月に多治見市で開催した「小野あつこのtryful」の様子。地元笠原町の方に協力いただきながら市内外からの参加者とモザイクタイルの作品を作成し、参加者が地元の産業に触れる機会となりました。

④広報紙の撮影のために訪れた養正交流センターの乳幼児遊戯室で。訪れていたお母さんやお子さんと触れ合っていました。

⑤表紙撮影中の一コマ。緊張気味だった子どもたちも、すぐに笑顔に。

⑥8月に開催された「あつこおねえさんとわくわく! おんがくタイム♪」の様子。市内在住の親子を対象に実施しました。

子どもたちが主役となる
子どもたちのためのイベント

「たじみこどもフェスタ」

こども家庭課
Instagram でイベント
情報をお届けします！



子どもたちが、体験を通してわくわくするとともに自分の好きなものや得意なことを発見し、夢や希望をもってもらう機会となることを目指して開催しています。今年度も3月7日(土)の開催に向けて準備を進めています。



子育て応援
キャプテン

ジャッキー



たじみしのみんなへ

やっほー!

わたしジャッキー。

わたしね、たじみしのみんなのことがだーいすき!
たじみしにいったら、みんなとたくさんおはなし
したり、いっしょにあそびたいな。

みんなにあえるのをたのしみにしているよ。

まったねー!

ジャッキーより

「ジャッキー」と市の取り組み

ジャッキーは絵本シリーズ「くまのがっこう」に登場する主人公の元気なくまの女の子です。作者のあだちなみさんが多治見市出身というご縁から、現在市では、「くまのがっこう子育て応援プロジェクト」として、「くまのがっこう」と多治見の子育ての取り組みを広げています。多治見の子どもたちもジャッキーのように、いろいろなことに挑戦しながら元気に育ってほしい、そんな思いを込めたプロジェクトです。

①図書館本館2階の絵本コーナーには「くまのがっこう」コーナー「ジャッキーの本棚」があり、「くまのがっこう」シリーズを始め、あだちなみさんのいろいろな絵本を子どもたちが自由に楽しむことができます。

②令和6年度、アンファッションカレッジにハギレを提供いただき、「ハギレで作ろう!ジャッキーのお洋服コンテスト」を開催しました。アンファッションカレッジの生徒さんがその技術力を生かしてジャッキーのワンピースも制作してくださりました。今年も10月に開催し、子どもから大人まで多くの方に参加いただきました。

③第2回こどもフェスタに、ジャッキーのワークショップが登場。多くの子どもたちが参加しました。

④「ジャッキーのお洋服コンテスト」の開催に合わせて図書館本館ロビーでは、くまのがっこうアート展を開催しました。



子育てを応援する市の施設

児童館、児童センター



0歳～18歳までのすべての子どもの遊び場です。市内に13館あります。乳幼児クラブや小学生クラブ、妊娠期～中高生まで幅広い年代が参加できる行事も行っています。



地域子育て支援センター、親子ひろば



親子がスタッフの見守りの下で自由に過ごせる場所です。育児相談や親同士の交流、講座や行事なども行っています。妊娠期を含む0歳～おおむね3歳までの親子が対象です。





プロダクトの根源

ーデザイナーを通して見るやきものー

陶磁器デザイナーに焦点を当てた展覧会です。

日時 11月1日(土)～令和8年1月18日(日)
10:00～18:00 ※水曜定休

《関連トークイベント》

デザイナーを通して見るやきもの

日時 11月1日(土)13:30～

申込方法 電話またはホームページから

場 申 問 文化工房ギャラリーヴォイス
☎23-9901 FAX23-9902



Night at 美濃焼ミュージアム

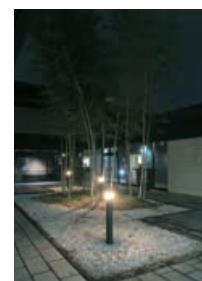
第35回穴窯フェア関連企画としてミュージアムの夜間開館を行います。昼間とはひと味違うミュージアムをお楽しみください。

日時 11月22日(土)
17:00～20:00

入館料 無料

※上記の日時以外は観覧料一般500円が必要

場 問 美濃焼ミュージアム
☎23-1191



クリスマス飾りを作ろう

粘土をのびし、好きな形にカットして、クリスマスの飾りを作ろう。

日時 形づくり 11月8日(土)、9日(日)
色付け 12月6日(土)、7日(日)
全日程 10:00～12:00 ※全2回の講座

対象 小学生、中学生

※上記対象外の方も相談ください

定員 各日15人 参加料 2,200円/1セット(置物とオーナメント3点)

※引き渡しは12月23日(火)まで(送料別で発送可)

持ち物 タオル、汚れてもよい服装

申込方法 電話またはホームページから

場 申 問 文化工房ギャラリーヴォイス
☎23-9901 FAX23-9902



第35回穴窯フェア

11月21日(金)～23(日)に穴窯を焼成します。

見学と窯の中に薪を入れる「窯焚き体験」が、どなたでも楽しめます。

日時 穴窯焼成期間

11月21日(金)～23日(日)

※22日(土)17:00～20:00が焼成の見頃です

場 問 安土桃山陶磁の里ヴォイス工房
☎25-2233



ワークショップ

「タイルを使ったワークショップ」

タイルを使っていろんな文様をデザインしてみよう!

日時 11月22日(土) ①10:00～ ②11:00～
③13:30～ ④14:30～

定員 各回10人

対象 小学生以上(小学2年生以下は保護者同伴)

場 申 問 モザイクタイルミュージアム ☎43-5101



しめ縄をつくろう

稲わらを使ってしめ縄を作るワークショップを開催します。しめ縄「ののじ」と「大根じめ」の作り方を教わります。

日時 12月7日(日) ①「ののじ」10:00～11:00
②「大根じめ」13:30～15:00

定員 ①5人 ②4組(2人1組)

※①②ともに小学生以下は保護者同伴

持ち物 タオル、飲み物、持ち帰り用の袋

※床に座って作業するので服装にご注意ください

申込方法 11月7日(金)9:00～電話または窓口で(先着順)

場 申 問 文化財保護センター
☎25-8633



クリスマス婚活 参加者募集



あべべさん直伝!おいしい本格スパイスカレーを作りながら素敵なクリスマスを楽しみましょう。

日時 12月21日(日) 10:00～13:00 受付 9:45～

場所 笠原交流センター

対象 25歳～40歳の未婚の男女

定員 男女各8人 ※応募者多数の場合は抽選

参加料 2,000円

持ち物 エプロン、マスク、バンダナ

申込方法 12月7日(日)までにQRコードから

申 問 企画政策課 ☎22-1376

